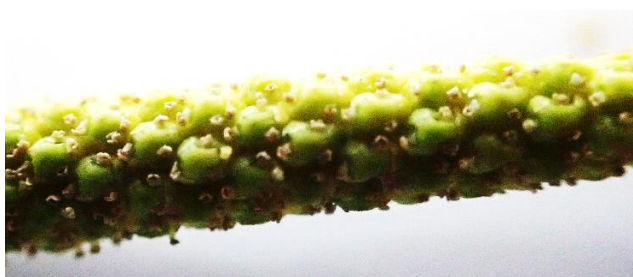


2021.4.9 妙見の森自然観察会

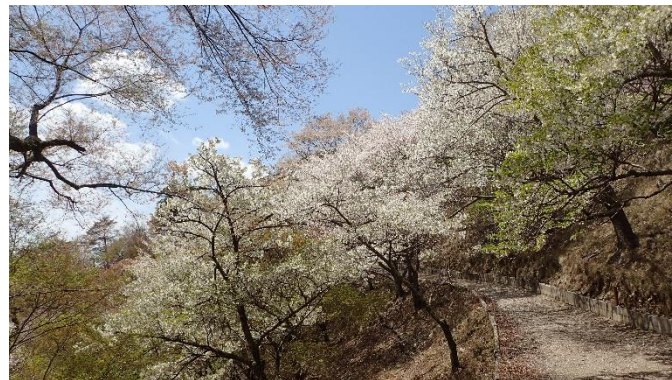
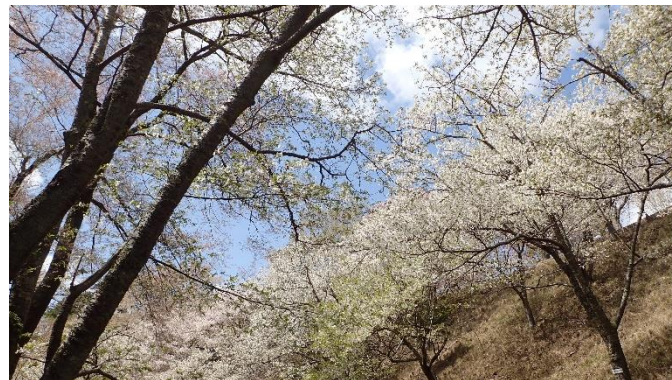
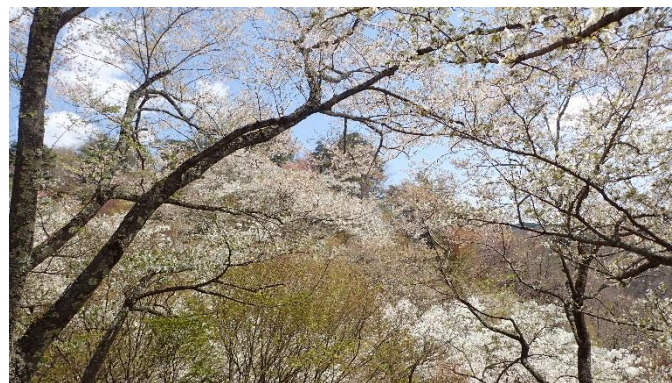
セキショウ (ショウブ科)



ムラサキサギゴケ (ハエドクソウ科) と  
カキドオシ (シソ科)



タマゴケ



エドヒガン







# 川西市黒川字奥山 ブナ群落 (妙見山のブナ群落)

ブナ林は冷温帯（山地帯）に広く分布するが、瀬戸内沿岸域では八甲山、和泉葛城山、大和葛城山と妙見山にわずかに残存するに過ぎず、本地域のブナ林は非常に貴重。ブナ林の主要部は大阪府能勢町側に分布しており、大阪府側の林分は昭和58年に大阪府の天然記念物に指定されている。

兵庫県側のブナ林は700㎡と小面積であるが区内には8個体が分布。2016年3月に川西市の天然記念物に指定された。

### 妙見山のブナ林の特徴

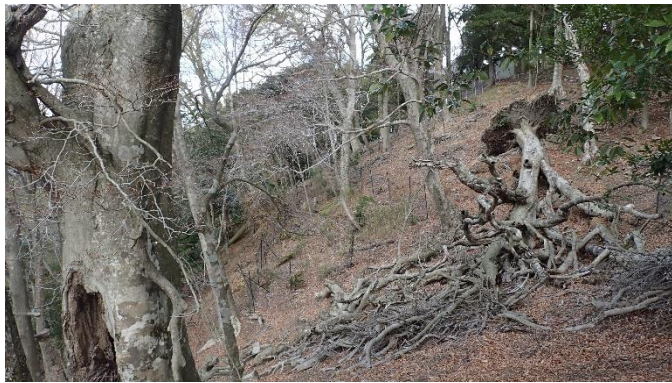
- 世界中の太平洋側で最も500m付近のトビ
- 冷温帯性のブナ林と暖温帯性のアカガシ（落葉樹）が共存している

能勢妙見山 ブナ守の会

この看板は北摂巨山若方づくり協議事業の助成金により作成されています



ブナ群落



能勢妙見山

